

社協 ほどがや

No. 35

【発行】
社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会(会長 山崎 滋)

〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町5-11 かるがも3階 ☎:341-9876 FAX:334-5805
ホームページ: <http://www.shakyohodogaya.jp/> Eメール: h@shakyohodogaya.jp

特集 保土ヶ谷の作業所美味しいものマップ 1

区社協、日本赤十字社からのお知らせ
コラム・こらむ、ボランティア情報、編集後記 2

保土ヶ谷の作業所 美味しいものマップ

皆様は地域作業所をご存知でしょうか？地域作業所(注)は、障がい者本人や家族を含む関係者の努力で設立されてきました。この地域作業所で、障がいのある人が仲間と集い、働き、学びあうなど様々な経験を通じて、自らの能力を一層引き出し、より自立した生きがいのある生活を目指しています。

ここでは、区内にある地域作業所の中から「食」を提供しているところの一部をご紹介します。こちらの地域作業所では、ハンバーグ定食からパン、野菜、コーヒーなど、色々な「美味しいもの」を提供しています。

皆様のご近所にもお店があり、出張販売も行っています。美味しさでは負けないものばかりです。見かけましたら、ぜひご賞味ください。

(注)障がい者の日中活動の場には、「地域活動支援センター」「就労継続支援事業所」「生活介護事業所」などがあります。ここでは、これらの総称として地域作業所と表記しました。

1 とうふ

香りが違う できたてとうふ とうふ工房 夢21

(西谷駅から徒歩5分)

保土ヶ谷区西谷890-12 Tel045-383-0255
営業時間8:45~17:00 定休日:土曜・日曜・祝日



西谷商店街のはずれに、「とうふ工房」があります。地域作業所では珍しく、とうふをつくり販売しています。国産大豆から作る豆乳を宮城県の作業所から仕入れ、とうふに仕上げます。

とうふといっても大変奥が深く、売り物になるまでは試行錯誤の連続でした。今でも、同じように作っても、気泡ができたり、毎回同じようにはいかず、難しいそうです。でも、こだわった材料を使ったとうふは、香りがよく、一味違います。

販売は「とうふ工房」以外に、ケアプラザなどでも行っていますので、見かけたら声をかけてください。

2 野菜 若鶏卵

旬の野菜・若鶏卵の直売所 トラック

(保土ヶ谷駅から徒歩3分)

保土ヶ谷区帷子町1-20 Tel045-332-2939
営業時間10:00~16:30 定休日:土曜・日曜・祝日

「野菜の直売」の看板がある「トラック」。若鶏卵や味噌、クッキー、ジャムなど販売していますが、メインは野菜。地元では「八百屋さん」や「トマト屋さん」と呼ばれています。

こだわっているのは、「減農薬」と「新鮮さ」。減農薬農法などに取り組む都筑区や泉区の地域作業所や農家から仕入れます。その日に採れた野菜をお店に並べます。ちょっと規格外の品物もあり、お買い得！と評判です。

「安心」「新鮮」「美味しい」のトラック、美味しいものがいっぱいです。



5 喫茶

美味しいコーヒーと 交流の場 ほっとらんど

(西谷駅から徒歩5分)

西谷地区センターで、10:00~15:00にオープンしています。

地域作業所など4つの施設が日替わりで、西谷地区センターの喫茶コーナー「ほっとらんど」を担当しています。

withゆう、ほどがや希望の家、アートショップよこはま、夢21西谷がコーヒーや紅茶、地域作業所でつくられるクッキーなどを提供しています。

お問い合わせは、夢21西谷:045-371-4233 まで



3 手作りパン

素材にこだわるおいしいパン ダンボのお店

(和田町駅から徒歩5分)

保土ヶ谷区和田2-11-13 Tel045-744-6331
営業時間10:30~15:00 定休日:土曜・日曜・月曜

2年前にできたパン屋さん。防腐剤なしの素材にこだわるパンを、毎日30種類焼き上げ、販売しています。毎日200個作るパンは、2時には売り切れてしまう、地元の人気店です。

特に充実しているのがおかずパン。お好み焼きパンやたこ焼きが入った「たこまる君」など、オリジナルなものが沢山あります。これらはほとんどメンバーがアイデアを出し、皆で試作を重ねてつくりあげました。食パンも人気があり、一週間分買いためていく常連さんもいるそうです。

30種類のパンは、季節によって変わります。今はどんなパンがあるか、売り切れないうちにのぞいてみてください。



4 手作りハンバーグとお休み処

ほっとできる、おいしいお店 手作りハンバーグの店 「はなかご」と お休み処「はなかご」

(星川駅から徒歩3分)

保土ヶ谷区川辺町2-2パイロットハウス星川 B棟 105-210 Tel045-333-0029
定休日:土曜・日曜・祝日。お休み処は水曜日
も休みですが、第四土曜日は営業。
営業時間10:30~15:30

手作りハンバーグのお店「はなかご」は、昨年10周年を迎えました。もとは軽食だけだったのですが、お料理好きの理事長の「手作りのハンバーグって作れないかな?」という一言で、ハンバーグ作りに取り組みと、玉ねぎを切る、こねる、まるめるという作業が障がいのある人に向いていて、「手作りハンバーグ」が店の目玉になりました。

ワンコインでハンバーグ定食が食べられるので、近隣のサラリーマンに大人気。1週間に使う肉の量は18キロ! 業務と並行して、仕込みを行っていますが、それでもランチは12時15分に売り切れになることもあるそうです。なので、お昼は早めにいらしてください。



2年前に同じビルの一階に、お休み処「はなかご」もできました。ふらっと立ち寄り、ベビーカーの人でも利用でき、ほっとできる場所になればと お休み処「はなかご」になりました。

ここではパンを作っていて、手作りのハンバーグと組み合わせたハンバーガーが、お休み処の目玉商品です。スタッフは「世界で一番おいしい」と胸を張ります。パウンドケーキやチーズケーキなども美味しくて、お買い得!です。

今回は、「食」によって地域と障がい者の活動をつないでいる地域作業所をご紹介します。それ以外にも、自主製品の製作などを心をこめて行っています。地域作業所は地域とともに活動し、成長したいと思っています。ぜひ、ご支援をお願いします。

日本赤十字社(保土ヶ谷区地区)からのお知らせ

平成26年5月から6月にかけて社員増強運動を実施します。

日本赤十字社は、特殊法人で社員をもって組織されており、人道博愛の赤十字事業は、社員の社資(社費・寄付金)によって実施されています。「赤十字社員増強運動」とは、区民のみならず赤十字を理解いただき、赤十字社員に加入されることをお願いし、赤十字の使命達成を図ろうというものです。

ご協力いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ】

日本赤十字社神奈川県支部 保土ヶ谷区地区委員会
(事務局: 保土ヶ谷区社会福祉協議会)
電話: 341-9876 FAX: 334-5805



区社協からのお知らせ

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました。

保土ヶ谷区にお住まいの皆さまのご協力により18,492,654円(平成26年1月31日現在)の募金をいただきました。

お寄せいただいた募金は区社協を通じて区内の地域福祉活動やボランティア団体への支援、神奈川県共同募金会を通じて県内福祉施設の改修や備品購入などに使われます。

募金内訳: 戸別募金 16,167,090円
街頭募金 890,550円
法人募金 895,663円
その他(イベント時募金、職域募金他) 539,351円



精神保健福祉ボランティア講座報告

平成26年2月19日(水)、「医療と福祉の両方の側面から見た心の病気」をテーマに開催しました。当日は58名の方にご参加いただきました。

症例に基づいた病気と治療法、ボランティアの体験談と活動する上での心構えについて話を聞きました。

参加者の感想(一部)

- ・この講座で学んだことを活動に活かしたい。
- ・『ボランティアはただそばにいていい』という話を聞いて一歩踏み出そうと思った。

子育て応援講座報告

平成26年1月29日(水)より3回の講義とボランティア体験により「発達に遅れや障がいのある子と親をサポートしよう」をキーワードに子育て応援講座を実施しました。

内容は発達障がいや肢体障がいの理解についての講義、障がいの疑似体験、障害児地域訓練会並びに放課後等デイサービスにおけるボランティア体験、当事者の親や先輩ボランティアの話などで、延べ38名の方に参加いただきました。

参加者の感想(一部)

- ・ボランティアやお子さんとふれあう活動をするうえで大変参考になりました。
- ・疑似体験は新鮮で多くの気づきがあった。
- ・具体的なお話を聞くことが出来てよかった。
- ・ボランティア体験ができてよかった。



障がいのある方のための外出相談窓口

いこうya ほどがya 保土ヶ谷区移動情報センター

これまで、移動に関する情報が一元化されていないことで、障がいのある方やご家族自らがサービス事業者等を探して問合せをしていました。

移動情報センターでは、移動に関する支援制度や事業所等について、ご相談を受け付けています。

●たとえばこんな時にご相談ください。

- ガイドヘルパー、ガイドボランティアについて知りたいのですが。
- 登下校の付き添いをしてくれる方はいますか?
- 車いすで送迎してくれる事業所を教えてください。
- 送迎にかかる料金はどのくらい?

相談受付時間: 月曜日から金曜日 9時から17時(祝日を除く)

費用: 無料

相談窓口連絡先

専用電話 045-332-2479

FAX 045-334-5805

専用電子メール idou@shakyohodogaya.jp

ボランティア情報

付き添い支援

障がいのある方は一人での外出に不安な時があります。例えば…

- ・駅まで行くのに車いすでは坂道が不安。
- ・病気で目が見えなくなり、一人で病院に行くのが不安。
- ・これまでは特別支援学校のスクールバスで通っていたけれど、卒業したら誰か付き添ってくれるか不安。…など

いろいろな事情で手助けを必要としている方がいます。ぜひボランティアセンターへご登録ください。お話をうかがったうえ、ご希望に合った活動をご紹介します。また、活動にあたっては、ご希望により、車いす操作などの必要な研修を行います。

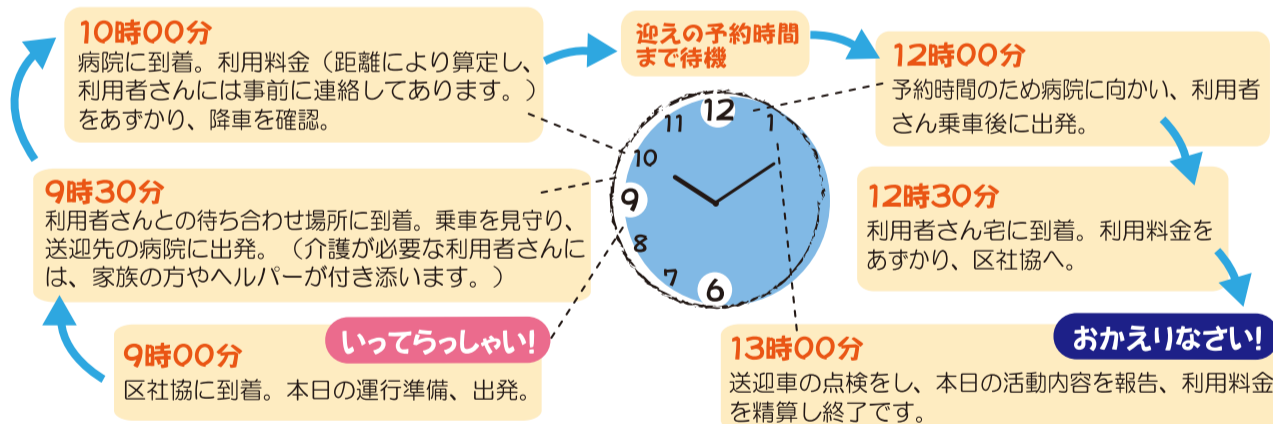
高齢者施設での趣味活動支援

習字・手芸・折り紙・俳句・将棋・囲碁などたしなむ程度からプロレベルまで技術は問いません。週1回、月1回など都合に合わせて活動してみませんか?

高齢者施設を利用されている方と楽しく過ごして下さる方を募集しています。活動の様子の見学もご希望に応じて可能です。

運転ボランティアさん の一日(例)

ボランティアさんにはおおむね運行の2週間前に活動の依頼をしています。1日に1〜2件程度の送迎をお願いしています。今回は、ある利用者さんを病院にお送りする場合のスケジュールをご紹介します。



運転ボランティア募集

高齢者や障がいの外出をお手伝いいただける運転ボランティアを募集しています。

日時: 月曜日から土曜日 8時45分から17時の間でご都合のよい時間帯。

運行範囲: 利用者宅(区内)から病院など(横浜市内)

車両: リフト付きワゴン車・助手席回転シート等を装備した車等
条件: 週1回程度定期的な活動ができる方、75歳未満の方(5日間程度の研修を受けてからの活動となります。)

定年: 75歳を迎えた月末



コラムくらむ よこはま西部ユースプラザ

よこはま西部ユースプラザでは、ひきこもりをはじめ課題を抱える若者及びそのご家族のための総合相談や居場所づくり、社会参画体験や地域活動参加の機会をつくる活動をしています。

社会的自立を目指す横浜市青少年相談センター、就業的自立を目指す若者サポートステーションと連携・協働する支援体制を作り、地域の支援ネットワークづくりを構築しています。

●よこはま西部ユースプラザ

保土ヶ谷区天王町1-30-17

お問い合わせ電話: 045-334-3040 相談専用電話: 045-334-3041 HP URL: <http://www.geocities.jp/thiikiyuusu/>



編集 後記

地域作業所で働いている障がい者は、笑顔いっぱい働いています。

「働く」ということに、本当に喜びを感じているのだと、その笑顔に会うとよく伝わってきます。

働くことの原点に、改めて気付かせてくれる思いがします。ぜひ、その笑顔に会いに地域作業所へ足を運んでみませんか。(あかね工房 金井篤史)

*この広報紙は赤い羽根共同募金と日本赤十字社社資の協力で発行しています

*この広報紙のテープ版、デジ版を、保土ヶ谷録音グループ「はし」の協力により発行しています。ご希望の方は保土ヶ谷区社会福祉協議会までご連絡ください

編集委員…(委員長) 薩澤志萬子・(副委員長) 関塚龍補・金井篤史・高橋賀世子・中井友美子・藤野宏史・皆川康子

ボランティア活動に関することは ボランティアセンターまでお気軽にお問合せください。

332-2412 (保土ヶ谷区ボランティアセンター直通)

FAX 334-5805

●開館 9:00 ~ 17:00
(日・祝・年末年始は休館)

